

令和7年度事業報告書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

1 事業の成果

令和7年度は、ラクダが30年前の設立当時から取り組んできた都市交通の活性化が見えてきた1年だった。30年取組んできた路面電車駅前乗入れはレール敷設までできた。吉備線LRT化と路面電車環状化も再起動に向けて、ラクダとしても岡山市・市議会・国交省・事業者にも活発にロビー活動を行った。

第6回の瀬戸内国際芸術祭に向けて、今回も備讃瀬戸アクセスマップを春夏秋冬各1万部を作成して配布した。今回は全面的改版を行い、8pの冊子タイプに変更した。赤穂線沿線の瀬戸内市、備前市への都市交通としての再構築と瀬戸芸を繋げる取り組みとしても、このマップを展開できる体制にした。

TSMC進出で渋滞問題が最大の政治課題となっている熊本の事例に対して、Zoomメンバーの太田恒平氏の提案する「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」のキャンペーンを岡山でも適用する事については、10月の市長選後から本格的にラクダとして展開した。次年度2月11日の岡山でのラクダ設立30周年記念「都市交通フォーラム2026」のメインテーマに据えた。本年10月からその冊子作りに入り、32pの執筆、広告募集などを年内にほぼ終了した。

バスマップサミットは6月に八幡浜市で開催され、ラクダも前年制作の「バスマップハンドブック」を手に参加した。Zoom会議前半のバスマップ討議メンバーの意見交換の場ともなった。

Zoom会議は毎回30人以上が参加、去年は50回、コロナ後通算289回開催。全国路面電車ネットワークのプラットフォームとして機能している。6月にはZoomメンバーで参議院議員選挙主要7政党アンケートを実施、ラクダが事務局を担った。全党に回答いただき、Yahoo!ニュースにもなった。吉備線LRT化の発展的解消に向けて、富山の城端線・氷見線ハイブリッド電車化の過程などがZoom会議にも紹介され、車両問題含めて議論とロビー活動が進んだ。さらに瀬戸大橋線複線化と中速新幹線案も大いに議論され、提案書段階まで進んだ。赤穂線の増便についても議論された。各地の課題も積極的に議論され、地方紙・雑誌記者も参画して、数十の記事を生んだ。いわばラクダのローカルシンクタンク機能とネットワークシンクタンク機能を体現しつつある。このZoom会議メンバーは、各地のフォーラムの活性化にも寄与し、お互いに講師として派遣しあう関係が構築された。同時に生で会う交流の機会が大いに増加した。

路面電車まつりは6月に、東山会場のみで開催。10月のJR・岡電の鉄道記念日イベントにも参加した。手回し発電機による鉄道模型運転体験は、人気を呼び、岡山と倉敷のSDGsフェア、倉敷の日本遺産大会、京橋朝市の古墳展示など合計6回実施することができた。毎月の京橋朝市の出前公聴会、瓦版はコロナも収束して順調に継続した。

収益事業であるピアガー電は、使用するMOMOの故障、さらに駅前乗入に伴う臨時電停設置などで、本格的には実施できず、スタッフ研修の意味で2回実施できたのみである。2002年導入のMOMO型については、既に全国に同型が普及したが、保守費用が掛かり、特に部品調達にも苦勞することが問題視され、RACDAとして「全国路面電車低床率調査」と「共同発注車両の開発提案」を実施した結果が全国に反映されつつある。

会員数は80名と13名増加。Zoom会議には新たに全国から20代30代が10名参加するなど、ネットワーク活動の戦力は増大した。次年度はラクダゼミなどの広報活動を拡大し、会員獲得をめざしたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出金額 (千円)
公共の交通を充実させるための、公共交通をツールとしたまちづくり、公共交通の拡充・活性化、自転車の有効利用の推進、公共の交通に関する調査、企画、調整、仲介等の諸事業	JR 吉備線 LRT 化推進事業	通年	JR 吉備線沿線を主とする岡山、総社市内	100 名	JR 吉備線沿線住民を主とする岡山・総社市民など不特定多数	0
	路面電車環状化・岡山駅前広場乗入推進事業	通年	岡山市内	200 名	岡山市民、路面電車利用者など不特定多数	29
	吉備線路面電車直通推進事業	通年	岡山市、JR 吉備線沿線	50 名	JR 吉備線沿線住民、岡山市民など不特定多数	0
	バスマップ作成配布事業	通年	岡山市・倉敷市	50 名	岡山・倉敷市民、バス利用者など不特定多数	805
	バス停アダプト事業（バス停留所環境整備）	通年	岡山県全域	2 名	岡山県民全般など不特定多数	0
	バス活性化プラン作成事業	通年	RACDA 事務局を中心に岡山県全域	200 名	岡山県民全般など不特定多数	4
	市民向け公共交通活性化・交通井戸	通年	岡山市を中心に岡山県全域	280 名	岡山県民全般など不特定多数	0

	端会議					
	「路面電車の日」実施事業	6/10	岡山市内路面電車沿線	50名	岡山市民全般など不特定多数	328
	ワイン電車 (車内でワイン等を提供する路面電車の運行)・ ビアガー電(車内で生ビール等を提供する路面電車の運行)等 実施事業	通年	岡山市内路面電車沿線	0名	岡山市民全般など不特定多数	130
	自転車有効利用推進事業(交通手段としての自転車の活性化、有効利用を推進する事業)	通年	岡山県全域	10名	岡山県民一般など不特定多数	0
	各地路面電車地方鉄道 存続・電車等 保存運動支援事業	週1	全国の該当地域	1500名	該当地域住民など不特定多数	79
地球温暖化防止に関する諸事業	岡山地区移動発生源温暖化ガス減 ロードマップ立案作成 事業	通年	RACDA 事務局を主に 岡山市内	10名	岡山県民全般など不特定多数	0